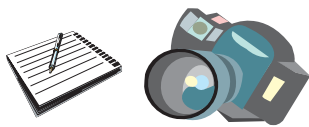


カメラサポーターだより



小山田の軽井沢堤にはもう数羽の白鳥が飛来し、羽を休めていました(11月23日)

冬の使者 白鳥飛来

今月の取材 梶台 幅下 佳子 さん

山々も白く模様替えし、里にも雪の便りがあちこちから聞こえてくるようになりました。この雪の便りとともに市内にも多くの渡り鳥が飛来してしまっています。その中には皆さんに親しまれている堤や沼、そして川も多々あります。矢沢の「三郎堤」、笹間の「中堤」、内室堤公園、上人塚公園、東和町小山田の「軽井沢堤」、下似内の「釜石線鉄橋下」。わたしたちが気軽にに行けるところにも白鳥は飛来しています。白鳥は、毎年自分の場所を忘れて遠くシベリアからはるばる飛来し、3月ごろまで羽を休め、再びシベリアへ帰って行きます。美しい冬の使者、白鳥をみんなで温かく見守りたいですね。

税金の大切さ 考えませんか

平成18年度小・中学生の、税の作文コンクールの入賞者表彰式が11月16日、市役所本庁で行われました。このコンクールは、11月11日、17日の税を考える週間にあわせて実施されたものです。市長賞を受賞した桜台小学校6年の高橋桃子さんと花巻北中学校3年の吉田みりさんのほか、小学生10人と中学生11人が表彰されました。また、11月15日には納税表彰式と納税貯蓄組合法施行55周年記念感謝状贈呈式が市内ホテルで行われ、団体の活動を通して納税意識の高揚に寄与された伊藤秀一さん(県納税貯蓄組合連合会監事)、奥山隆さん(花北間税会副会長)、高橋豊さん(花北法人会理事)、浅沼弘三さん(市納税貯蓄組合連合会副会長)に感謝状が贈られました。



「税の作文」で花巻市長賞を受賞した花巻北中学校3年の吉田みりさん

花巻をまるごとどうぞ!

「ふるさと花巻まるごとPR事業」は11月10日から12日まで、東京都杉並区南阿佐ヶ谷のすずらん通り商店街で開催されました。商店街では、本市の特産品販売やわんこそば大会が行われ、多くの買い物客などでにぎわいました。また、11月25日には、南阿佐ヶ谷すずらん商店街振興組合の組合員13人が本市を訪れました。滞在中、組合員の皆さんは南部杜氏伝承館や地元の酒造店などを見学。石鳥谷町観光協会の役員などと情報交換しながら交流を深めました。旧石鳥谷町で平成14年度から行っているこの催しも、合併によりその幅が広がりました。これから本市の特産品のPRや、各地域との新たな交流の輪の広がりが期待されます。



「何杯食べられるかなあ」。すずらん通り商店街で行われたわんこそば大会に挑む皆さん



地域の水道水の仕組みなど、1日3時間の研究成果を発表した浮田小学校の皆さん

こんなことも学んだよ

12月1日、とうわ子どもサミットが東和総合福祉センターで開催されました。サミットには、教育委員会東和事務所管内の8小中学校から約150人の児童と生徒が参加。総合学習の時間に調査活動した成果を学校ごとに発表しました。各校の発表を聞いて、子どもたちは自分の意見を積極的に発言。質疑応答を通して発表する力、考える力を高め合いました。ほかの学校の発表から気付くことはたくさん。子どもたちは、学校を越えて交流しながら知識も深めていきました。



▲研究発表を聞いて自分の意見を発表。考える力を養いながら、学校間の相互交流も図りました

思いやり ありがとう

12月2日と3日の両日、花巻・大迫・石鳥谷・東和の各地域で歳末助け合い芸能(演芸)大会が行われました。石鳥谷中央公民館で開催された演芸大会には約40団体が出演。次々と舞台上で演じられる舞踊やダンス、合唱などを大勢の観客が楽しみました。各地域の大会の入場券販売などによる収益金は、歳末助け合い義捐金として寄付されます。皆さんの思いやりで温かく迎えた年の瀬。来年も互いに助け合いながら、すてきな一年にしたいですね。



もうすぐクリスマス。一足早く歌で会場を盛り上げました(大迫地域)

さあスマッシュ!

参加者の親睦と卓球技術の向上を図るため、第30回大迫町少年卓球大会が、11月26日、大迫体育館で行われました。団体戦1チーム3人)には男子7チーム、女子5チームが、個人戦には男子18人、女子20人が参加。互いに交流を深めながら熱戦を繰り広げました。真剣に白球を追いかける選手たち。鋭いドライブやスマッシュが決まるたびに、観客からは大きな歓声が上がっていました。選手たちの熱気と、応援に駆けつけた皆さんの熱い声援。会場全体がひとつになり、大いに盛り上がりました。



真剣な眼差しで白球を打つ選手。見つめる観客も真剣です